

科目名	言語ⅡA-3						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	N1レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加え、さらに幅広い場面で使われる日本語を理解し、運用できるようにする。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常のより幅広い場面で必要なN1レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY！日本語能力試験N1 文法から伸ばす日本語』（アスク出版 2022年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	授業概要説明 / ニュースを読む「オクトーバーフェスト」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	3・4	スピーチを聞く「産業医を増やそう」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	5・6	昔話を読む「飯食わぬ女房（1）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	7・8	昔話を読む「飯食わぬ女房（2）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	9・10	実用書を読む「上司との付き合い方（1）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	11・12	実用書を読む「上司との付き合い方（2）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	13・14	前期前半まとめ				授業内評価テスト準備	
	15・16	授業内評価テスト①（筆記） / 実力養成				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	17・18	ドラマのシナリオを読む「転職（1）」前半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	19・20	ドラマのシナリオを読む「転職（1）」後半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	21・22	ドラマのシナリオを読む「転職（2）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	23・24	ドラマのシナリオを読む「転職（3）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	25・26	スピーチをする「研修を終えて」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	27・28	前期後半まとめ				授業内評価テスト準備	
	29・30	授業内評価テスト②（筆記） / 実力養成				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
授業内評価テスト(筆記)		◎	◎				60%
小テスト		◎	◎				20%
受講状況					◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語ⅡA-2						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	徳田 万里子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	N2レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語を理解し、運用できるようになる。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常のより幅広い場面で必要なN2レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY！日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』（アスク出版 2020年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	授業概要説明/1. お知らせを読む スタッフ募集のお知らせ				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	3-4	2. スピーチをする 転任のあいさつ(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	5-6	2. スピーチをする 転任のあいさつ(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	7-8	3. 説明を聞く ホテルの仕事				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	9-10	4. ニュースを聞く 台風情報				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	11-12	5. 友達同士の会話 就職活動(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	13-14	5. 友達同士の会話 就職活動(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	15-16	授業内評価テスト①(筆記)/N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	17-18	N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	19-20	N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	21-22	6. 友達同士の会話 苦労した5年間(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	23-24	6. 友達同士の会話 苦労した5年間(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	25-26	7. 論説文を読む オオカミと生態系(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	27-28	7. 論説文を読む オオカミと生態系(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	29-30	授業内評価テスト②(筆記)/前期総復習				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語ⅡA-1											
科目名(英)												
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		福永 沙耶花			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ビジネス科2年											
授業概要	日本語能力試験N3レベルの文法を教科書に沿って学習する。また、場面に応じて学んだ知識を運用できるよう、作文、発話練習を行い、日本語能力試験N3レベルの文法を習得する。											
	iCDタスクコード											
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○				日常の幅広い場面で必要なN3レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる						
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる						
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる						
テキスト・教材 参考図書	『TRY! 日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』(アスク出版 2017年)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1・2	授業説明、自己紹介／1 初めての富士登山(1)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	3・4	1 初めての富士登山(2)／まとめの問題					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	5・6	2 ぼくの犬、クロ(1)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	7・8	2 ぼくの犬、クロ(2)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	9・10	まとめの問題／3 市民農園の募集(1)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	11・12	3 市民農園の募集(2)／まとめの問題					授業内評価テスト①の準備(2時間)					
	13・14	授業内評価テスト①前復習／授業内評価テスト①(筆記)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	15・16	4 水泳大会(1)／4 水泳大会(2)①					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	17・18	4 水泳大会(2)②／まとめの問題					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	19・20	5 手作りハムのレシピ(1)／5 手作りハムのレシピ(2)					教科書の復習(1時間)					
	21・22	まとめの問題／N3 文法 模擬試験					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	23・24	6 里山について(1)／6 里山について(2)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	25・26	まとめの問題／7 不動産屋で(1)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)					
	27・28	7 不動産屋で(2)／まとめの問題					授業内評価テスト②の準備(2時間)					
	29・30	前期総復習／授業内評価テスト②(筆記)										
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	授業内評価テスト(筆記)		◎		◎						60%	
	小テスト		◎		◎						20%	
	受講状況						◎				20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。											

科目名	言語基礎ⅡA-3						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	日本語能力試験N1レベルの語彙をマスターするためにテキストに沿って学習し、語彙を積み上げていく。また、学んだ語彙を使用した発話練習も行う。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	◎	○				日本語能力試験N1レベルの語彙が読み書きできる	
		○				習得した語彙を適切な場面で運用できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング 初級が終わってからレベル』（アスク出版 2015年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、1課 電子レンジでチンをする ―料理―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	2	1課 電子レンジでチンをする ―料理―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	3	2課 寒気がする ―病気・症状―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	4	2課 寒気がする ―病気・症状―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	5	3課 カジュアルな感じ ―服選び―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	6	3課 カジュアルな感じ ―服選び―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	7	JLPT模擬試験と解説、1～3課の復習				授業の復習と次回の予習・授業内評価テストの準備(2時間)	
	8	授業内評価テスト①(筆記)				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	9	4課 発想力が豊か ―服選び―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	10	4課 発想力が豊か ―服選び―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	11	JLPT模擬試験と解説				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	12	5課 2LDKの高層マンション ―家探し―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	13	5課 2LDKの高層マンション ―家探し―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	14	前期の復習				授業の復習と次回の予習・授業内評価テストの準備(2時間)	
	15	授業内評価テスト②(筆記)					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎ⅡA-2						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	伊東 佳代
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	身近なテーマから語彙の知識を深めていき、中級レベル以降(N2レベル)の文字・語彙を使った表現の習得を目指す。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎	○				N2レベルの文字・語彙を覚え、自分の言葉で説明できる	
		○				場面に合わせて適切な語彙を使用できる	
テキスト・教材 参考図書	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング 初級が終わってからレベル』（アスク出版 2015年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介・授業の説明				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	2	電子レンジでチンする ～料理～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	3	電子レンジでチンする ～料理～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	4	寒気がする ～病気・症状～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	5	寒気がする ～病気・症状～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	6	応用問題				本日の授業の復習をする/ テスト対策	
	7	前期前半のまとめ／授業内評価テスト①(筆記)				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	8	カジュアルな感じ ～服選び～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	9	カジュアルな感じ ～服選び～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	10	発想力が豊か ～性格～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	11	発想力が豊か ～性格～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	12	2LDKの高層マンション ～家探し～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	13	2LDKの高層マンション ～家探し～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	14	応用問題				本日の授業の復習をする/ テスト対策	
15	前期後半まとめ／授業内評価テスト②(筆記)				本日の授業の復習をする		
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎ⅡA-1						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	徳田 万里子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	身近なテーマから語彙の知識を深めていき、N3レベルの文字・語彙を使った表現の習得を目指す。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常生活に役立つ語彙を見て理解ができ、運用できる	
	○	○				使用場面に合わせて適切な語彙を選び、日常的な会話ができる	
		○				前後の文脈から空所に入る語を選ぶことができる	
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験問題集 N3語彙 スピードマスター』（Jリサーチ出版 2021年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明 1. 時間				言葉の予習・復習	
	2	2. 3 家族・友人/食べる・飲む				言葉の予習・復習	
	3	4. 5 料理・味/レストラン				言葉の予習・復習	
	4	6・7 毎日の生活/電車				言葉の予習・復習	
	5	8. 9 飛行機・バス・車/家				言葉の予習・復習	
	6	10.11 街/お金・売る・買う				言葉の予習・復習	
	7	12.13 服・靴/色・形				授業内評価テスト①準備	
	8	授業内評価テスト①(筆記) 14. 数・量				言葉の予習・復習	
	9	15. 趣味・活動 第1回実践練習				言葉の予習・復習	
	10	16.17 郵便・宅配/人生				言葉の予習・復習	
	11	18.19 国・社会/産業・技術				言葉の予習・復習	
	12	20.21 材料・道具/自然①(自然と人間)				言葉の予習・復習	
	13	22.23 自然②(生き物と人間)/体・健康				言葉の予習・復習	
	14	24.25 気持ち/学校				授業内評価テスト②準備	
	15	授業内評価テスト②(筆記) 前期総復習					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になる場合がある。						

科目名	言語応用ⅡA-3						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	幅広い場面で必要な読解力、聴解力の向上を目的としN1レベルの聴解・読解の問題に取り組む。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				N1レベルの語彙や表現を習得し、適切に使用することができる	
		○				耳からの情報だけで話の要点を理解し、適切な応答をすることができる	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図を理解し、理解した内容を他者に説明できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター聴解 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク 2017年) 『日本語総まとめ N1 読解』(アスク出版 2019年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明／聴解：問題紹介／読解：第1週1日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	2	聴解：Ⅰ 音声の特徴に慣れる／読解：第1週2～3日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	3	聴解：Ⅱ「即時応答」のスキルを学ぶ(1)／読解：第1週4～5日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	4	聴解：Ⅱ「即時応答」のスキルを学ぶ(2)／読解：第1週6日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	5	聴解：Ⅱ「即時応答」のスキルを学ぶ(3)／読解：第1週7日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	6	聴解：Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(1)／読解：第2週1～2日目				授業内評価テスト準備	
	7	読解：第2週3～4日目／応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	8	前期前半まとめ/授業内評価テスト①(筆記)				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	9	聴解：Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(2)／読解：第2週5～6日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	10	聴解：Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(3)／読解：第2週7日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	11	聴解：Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(4)／読解：第3週1～2日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	12	聴解：Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(1)／読解：第3週3～4日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	13	聴解：Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(2)／読解：第3週5～6日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	14	読解：第3週7日目／応用問題				授業内評価テスト準備	
	15	前期後半まとめ / 授業内評価テスト②(筆記)				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用ⅡA-2						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	橋本 秀子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	日本語能力試験N2レベルの聴解・読解問題に取り組み、幅広い場面で必要な読解力、聴解力を習得する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				N2レベルの語彙や表現を習得し、適切に使用することができる	
		○				耳からの情報だけで話の要点を理解し、適切な応答をすることができる	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図を理解し、理解した内容を他者に説明できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター聴解 日本語能力試験N2』(スリーエーネットワーク 2011年) 『日本語総まとめ N2 読解』(アスク出版 2016年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明／聴解:問題紹介／読解:第1週1～2日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	2	聴解:問題紹介／読解:第1週3～4日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	3	聴解:似ている音の聞き分け／読解:第1週5～7日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	4	聴解:音の変化や縮約形／読解:第2週1～2日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	5	聴解:Ⅱ即時応答のスキルを学ぶ(1)1-A・1-B／読解:第2週3～4日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	6	聴解:Ⅱ即時応答のスキルを学ぶ(1)1-C／読解:第2週5～6日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	7	聴解:Ⅱ即時応答のスキルを学ぶ(1)1-D／読解:第2週7日目				新出語彙等の復習・次回授業内評価テストの準備(2時間)	
	8	授業内評価テスト①(筆記)、聴解:Ⅱ即時応答のスキルを学ぶ(1)1-E				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	9	聴解:Ⅱ即時応答のスキルを学ぶ(2)2-A／読解:第3週1～2日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	10	聴解:模擬問題／読解:第3週3～4日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	11	聴解:Ⅱ即時応答のスキルを学ぶ(2)2-B／読解:模擬問題				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	12	聴解:Ⅱ即時応答のスキルを学ぶ(2)2-C／読解:第3週5～6日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	13	聴解:Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第3週7日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	14	聴解:Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(2)／前期の復習				新出語彙等の復習・次回授業内評価テストの準備(2時間)	
	15	前期まとめ／授業内評価テスト②(筆記)					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用ⅡA-1						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	柴田 智子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	日本語能力試験N3に合格できるレベルの聴解力、読解力を身につけるため、テキストに沿って練習していく。N3レベルの文法、語彙も確認していく。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常生活に役立つ、簡単な聞き取りや説明を聞いて、内容が説明できる	
		○				お知らせや案内、新聞などを読んで、必要な情報がとれる	
		○				比較的平易な意見文、説明文などの問題に対し、適切な答えが選択できる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター 聴解 日本語能力試験N3』（スリーエーネットワーク 2019年） 『日本語能力試験対策 日本語総まとめ 読解N3』（アスク出版 2019年）						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	授業概要説明 読解：第1週1日目 案内① 聴解：問題紹介					新出語彙などは必ず復習すること
	2	読解：第1週2日目 案内② 聴解：Ⅰ 音声の特徴に慣れる 1. 似ている音の聞き分け					新出語彙などは必ず復習すること
	3	読解：第1週3日目 案内③ 聴解：Ⅰ 音声の特徴に慣れる 2. 音の変化					新出語彙などは必ず復習すること
	4	読解：第1週4日目 試験要項 聴解：Ⅰ 音声の特徴に慣れる 3. 音の高さや長さに注意する					新出語彙などは必ず復習すること
	5	読解：第1週5日目 募集① 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 1. 状況説明文を聞き分ける					新出語彙などは必ず復習すること
	6	読解：第1週6日目 募集② 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 2-A 許可や依頼の表現					新出語彙などは必ず復習すること
	7	読解：第1週7日目 実践問題 第2週1日目 カタログ① 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 2-B 注意するべき動詞					授業内評価テスト①の準備
	8	授業内評価テスト①(筆記) 読解：第2週2日目 カタログ②					新出語彙などは必ず復習すること
	9	読解：第2週3日目 お知らせ 第2週4日目 説明書① 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 3. 問題を知らせる・助けを申し出る表現に注意する					新出語彙などは必ず復習すること
	10	読解：第2週5日目 説明書② 第2週6日目 保証書 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 4. あいさつ表現に注意する					新出語彙などは必ず復習すること
	11	読解：第2週7日目 実践問題 第3週1日目 メール① 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 確認問題					新出語彙などは必ず復習すること
	12	読解：第3週2日目 メール② 第3週3日目 手紙・はがき① 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 1-A 敬語					新出語彙などは必ず復習すること
	13	読解：第3週4日目 手紙・はがき② 第3週5日目 手紙・はがき③ 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 1-B 間違えやすい表現					新出語彙などは必ず復習すること
	14	読解：第3週6日目 FAX(ビジネスレター) 第3週7日目 実践問題 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 2-A 会話でよく使われる表現					授業内評価テスト②の準備
	15	授業内評価テスト②(筆記) 前期総復習					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	通訳ⅡA										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		田中 雅彦・福永 沙耶花		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	国際ビジネス科2年										
授業概要	フォーマルな場面でも適切な日本語および母国語への訳出ができるよう、日本語の語彙や表現を増やし、実践練習を行う。										
	iCDタスクコード										
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				フォーマルな書類を書いたり、適切な語彙を使って話ができる					
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	授業概要説明、日本語の文章の書き方									
	2	ビジネス文書とは									
	3	正式な文書を書くときの注意					自分の経歴など個人の情報は自分で把握しておくこと				
	4	ビジネス文書の構成確認					具体例を加えて生き生きと話を展開するやり方に慣れる				
	5	伝わりやすい文、印象に残る書き方									
	6	ビジネス文書をデータにする際の注意点									
	7	ビジネス文書の作成①									
	8	ビジネス文書の作成②									
	9	ビジネス上で交わされる会話					日本語の文法の間違いないか、再度確認をしておくこと				
	10	伝わる話し方①									
	11	伝わる話し方②									
	12	通訳の仕事について・必要なスキル									
	13	通訳者にとっての冷静さ・柔軟性									
	14	通訳実践練習									
	15	まとめ									
評価方法	(1)課題 (2)小テスト (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
	課題	◎		◎						60%	
	小テスト	◎		◎						20%	
	受講状況					◎				20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。										

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	寺崎 葉子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	企業内、ビジネス場面で想定される会話が理解でき、日本独自のコミュニケーション技法やマナーも踏まえて発話、応答できるようにするための語彙、文法を学び、会話練習を通し実践力を養う。授業はテキストに沿って行う。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					日本企業で働くにあたって必要な語彙の習得	
		○				相手から発せられた会話が理解でき、適切な応答ができる	
		○				適切な語彙、マナーや日本の習慣、慣習も踏まえた発話ができる	
テキスト・教材 参考図書	『人を動かす!実戦ビジネス日本語会話【中級1】』(スリーエーネットワーク 2016年)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	授業概要説明、第1課「新人を歓迎する」①					
	2	第1課「新人を歓迎する」②					
	3	第1課「新人を歓迎する」③					
	4	第1課「新人を歓迎する」④					第2課の会話確認
	5	第2課「仕事の引き継ぎをする」①					
	6	第2課「仕事の引き継ぎをする」②					
	7	第2課「仕事の引き継ぎをする」③					
	8	第2課「仕事の引き継ぎをする」④・授業内評価テスト(筆記)					第3課の会話確認
	9	第3課「取引先を訪問する」①					
	10	第3課「取引先を訪問する」②					
	11	第3課「取引先を訪問する」③					
	12	第3課「取引先を訪問する」④					第4課の会話確認
	13	第4課「営業報告会に出る」①					
	14	第4課「営業報告会に出る」②					
	15	第4課「営業報告会に出る」③・まとめ					定期試験のための復習
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業内評価テスト(筆記)を実施する (3)随時小テストを実施する (4)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	貿易実務A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	白岩 和幸
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	貿易の仕組みや貿易の流れの基本についてテキストに沿って学ぶ。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				貿易についての基礎的な言葉を学び、自分の言葉で説明できる	
		○				貿易の基礎的なしくみを理解し、その説明ができる	
テキスト・教材 参考図書	『絵で見る貿易のしくみ改訂版』（日本能率協会マネジメントセンター 2020年）						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	オリエンテーション 貿易とは？ 授業概要説明					
	2	第1章 貿易とはどんなものか？流通の機能・貿易と国内取引の違い					
	3	第1章 貿易とはどんなものか？貿易のいろいろな形態・取引の内容					
	4	第1章 貿易とはどんなものか？日本の貿易の特徴・国際収支					
	5	第2章 貿易に関わる人々 商社・船会社・海貨業者					
	6	第2章 貿易に関わる人々 銀行・保険会社・税関					
	7	第3章 みなと・船・空港の仕組み 港の施設・コンテナ					
	8	第3章 みなと・船・空港の仕組み 保税地域とは？貨物船の種類					
	9	第3章 みなと・船・空港の仕組み コンテナの種類・航空輸送・税関空港					
	10	第4章 貿易書類の役割り ささまざまな書類・信用状					
	11	第4章 貿易書類の役割り 船荷証券・インボイスなど					
	12	第5章 取引の準備から契約まで 取引先・マーケティング					
	13	第5章 取引の準備から契約まで 信用調査・法律					
	14	第5章 取引の準備から契約まで 交渉と成立					
	15	前期まとめ テストに向けての復習					定期試験のための復習
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テスト(筆記)を実施する。(3)レポートを課す 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト(筆記)・レポート	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	マーケティング									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		島田 英也	
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ビジネス科2年									
授業概要	将来の就職先企業での実務活動に備え、マーケティングの意味や仕組みを学習する。									
	iCDタスクコード									
授業形態	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標				
	○	○				マーケティングの意味や仕組みを説明できる				
	○	○				市場調査の方法を説明できる				
	○	○				売上・原価・利益の仕組みを理解し、説明できる				
	○	○				インターネットビジネスの仕組みを説明できる				
テキスト・教材 参考図書	教員作成プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	マーケティングとは？								
	2	マーケティング戦略								
	3	製品戦略								
	4	価格戦略								
	5	販売促進戦略								
	6	チャネル戦略								
	7	市場調査の仕方①								
	8	市場調査の仕方②								
	9	売上・原価・利益の仕組み①								
	10	売上・原価・利益の仕組み②								
	11	利益の出し方①								
	12	利益の出し方②								
	13	インターネットビジネスの仕組み①								
	14	インターネットビジネスの仕組み②								
	15	まとめテスト					14回までの内容を復習しておくこと。			
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)確認テストを実施する。(3)受講態度を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験		◎	◎				70%		
	確認テスト		◎	◎				15%		
	受講態度					◎		15%		
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。									

科目名	労務管理						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	真鍋 忠
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	学習に必須となる専門用語についての意味理解から始め、求人募集・面接・採用時のルール、労働契約・労働時間・賃金に関する法律、税金や社会保険・労働保険等について理解する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				企業内での制度や仕組み、日々の業務に関する語彙を理解し、説明できる	
	○	○				労務管理特有の語彙を理解し、それらの語彙の説明ができる	
	○	○				労務に関する専門用語、ルールに関して説明できる	
テキスト・教材 参考図書	教員作成プリント (参考図書)『はじめての人のための世界一やさしい労務管理がよくわかる本』(ソーテック2019年)など						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明 ～労働力不足と外国人の受入れの背景～					
	2	働く人々の諸問題～日本の労働の問題点～					
	3	在留資格制度・不法就労助長罪					
	4	日本型の雇用形態：正社員・契約社員・アルバイト・パートタイマー・派遣社員・ジョブローテーション・転勤					
	5	日本で働く外国人に適用される労働法				小テストの準備をしてくること	
	6	日本で働く外国人が知っておくべき労働用語					
	7	社会保障制度 ～社会保険～ / 理解度小テスト					
	8	税金の種類と役割・日本の国家予算内訳					
	9	企業のコンプライアンス(法令順守)・CSR活動・SDGs					
	10	情報管理・ハラスメント					
	11	安全衛生・健康管理・メンタルヘルス/課題レポート指示					
	12	企業の採用活動					
	13	日本の企業の特徴・企業理念					
	14	自分の国の企業と日本の企業のちがい					
	15	前期授業総括				定期試験の準備をしてくること	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)小テスト(筆記)を実施する (3)レポートを課す (4)出席状況、授業態度以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト(筆記)	◎	◎				15%
	課題レポート	○	◎		◎		15%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	IT応用 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	瑠璃垣 孝一
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	1年次に学習したExcelの内容の復習から始め、Excelについてさらにブラッシュアップした内容を学習する。また、日本情報処理検定協会情報処理技能検定試験表計算3級にも対応できるよう学習していく。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			ローマ字入力を用いて複雑なタイピング操作ができる	
		○	○			Excelの表作成機能を用いて体裁よく表作成ができる	
		○				Excelの関数機能を用いて効率的な計算ができる	
テキスト・教材 参考図書	P検タイピング練習 インターネット版(ソーシャル投稿非対応 学校内利用推奨) https://www.pken.com/tool/typing.html						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	タイピング復習①					
	2	タイピング復習② Excel基礎復習					Excelの基本操作を復習しておくこと。
	3	四則演算・セル参照					四則演算の復習をしておくこと。
	4	絶対参照と構成比率の計算					セル参照の復習をしておくこと。
	5	罫線処理と表示形式					
	6	オートSUM・合計・平均・最大値・最小値					
	7	並べ替えと順位					関数の使い方の復習をしておくこと。
	8	端数の処理					
	9	条件分岐					
	10	複雑な条件分岐					条件分岐の復習をしておくこと。
	11	検定対策①					
	12	検定対策②					
	13	検定演習					
	14	実務的な関数					
	15	総合演習 授業内評価テスト(実技)					
評価方法	(1)課題・レポート(2)授業内評価テスト(実技)を実施する(3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題・レポート	○	◎		○		50%
	授業内評価テスト(実技)	○	◎				30%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	接客演習A											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		長谷部 啓子			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ビジネス科2年											
授業概要	会社でのビジネス場面ごとに、必要なマナーと行動様式を実践できるかを重視しながら学習する。											
	iCDタスクコード											
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
		○	○	○		第一印象を大切にしたい挨拶を常にすることができる						
	○	○				正しい敬語で受け答えができ、相手に良い印象を与えるポイントについて説明できる						
	○	○				日本独特のビジネスマナーを理解し、その説明ができる						
		○		○		感じのよい電話の受け方ができる						
テキスト・教材 参考図書	教員作成プリント (参考図書)『実践ビジネスマナー(教師用指導書)』(ウィネット) 『サービス接客検定3級実問題集』(早稲田教育出版)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	第一印象・感じのいい自己紹介										
	2	第一印象・入退室					ロールプレイングのための課題をすること					
	3	敬語・書類の渡し方					次週、確認テストを行うので、 指定の範囲を復習すること					
	4	丁寧な所作(指し示し方・物の拾い方、渡し方)										
	5	日本での就職活動に必要な身だしなみとは										
	6	日本における冠婚葬祭時のしきたりとマナー					次週、確認テストを行うので、指定の範囲を復習する こと					
	7	電話応対①基本的な言葉の練習					ロールプレイングのための課題をすること					
	8	電話応対②メモをとりながら、電話を受ける					ロールプレイングのための課題をすること					
	9	電話応対③ 応用編(苦情や間違い電話など)					ロールプレイングのための課題をすること					
	10	電話応対④ ケーススタディ 実践編										
	11	電話応対⑤企業訪問依頼の電話/受験の際にもし遅刻しそうになったら/会社の 場所がわからなかったら										
	12	文書練習①送付書・案内状を書いてみる					次週、確認テストを行うので、指定の範囲を復習する こと					
	13	文書練習②就職試験に役立つお礼状の書き方										
	14	サービス接客検定3級にチャレンジ										
	15	振り返り・まとめ・期末試験対策										
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)確認テストを実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記)		◎		◎						60%	
	確認テスト(筆記・実践)		○		○		○		◎		20%	
	受講状況								◎		20%	
履修上の注意												

科目名	企業HR論A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦・福永 沙耶花
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	1)就職活動に必要な知識、語彙、麻生塾での就職斡旋ルールを学習する 2)日本で求められている社会人基礎力について学ぶ 3)就職面接を想定した実践練習						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		日本で仕事をするために必要となる基本的な知識を身につけ、就労の準備ができる	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント 『就職活動ガイドブック』(学校法人麻生塾)等						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明					
	2	就職活動のルール、手続きについて①				確認テスト準備	
	3	留学生の就職活動の注意点①				確認テスト準備	
	4	留学生の就職活動の注意点②				確認テスト準備	
	5	日本の社会人の基礎知識(身だしなみ、志望動機のコツなど)①				確認テスト準備	
	6	日本の社会人の基礎知識(身だしなみ、志望動機のコツなど)②				確認テスト準備	
	7	日本の会社、企業、組織の特徴				確認テスト準備	
	8	日本の企業でのコミュニケーションについて				確認テスト準備	
	9	社会人基礎力とは①					
	10	社会人基礎力とは②					
	11	社会人基礎力理解度確認				社会人基礎力の理解をしてくる	
	12	日本人とのコミュニケーション①				確認テスト準備	
	13	日本人とのコミュニケーション②				確認テスト準備	
	14	職業観について					
	15	まとめ					
評価方法	確認テストおよび態度・意欲にて評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(60点未満)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講状況				◎		50%
	確認テスト	◎					50%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	プレゼンテーション技法A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦・福永 沙耶花
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	プレゼンテーションの手法を学び、効果的なプレゼンテーションとはどういうものかを理解する。また、プレゼンテーションまでのプロセスを学ぶ。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				プレゼンテーションの手法を学び、より効果的なプレゼンテーションができるようになる	
		○				プレゼンテーションに必要な情報を自ら収集することができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、自己紹介				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	2	言語・非言語コミュニケーション				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	3	言葉の重要性				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	4	聞く態度とプレゼンテーションへの影響				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	5	敬語とコンビニ語				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	6	目線について				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	7	聞き手の心理				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	8	プレゼンテーション個人発表①				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	9	プレゼンテーション個人発表②				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	10	相手を意識したプレゼンテーション				次回の発表テーマに沿った準備をしてくること	
	11	5W1Hで話す					
	12	プレゼンテーションのための準備とは①				自分のグループのテーマを選んでくること	
	13	プレゼンテーションのための準備とは②				自分たちで選んだテーマに沿った準備をしてくること	
	14	プレゼンテーショングループ発表①					
	15	プレゼンテーショングループ発表②					
評価方法	(1)個人発表およびグループ発表 (2)小テスト (3)受講状況(態度、意欲、出席) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表	○	◎		◎		60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	会計実務A										
科目名(英)											
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		稲永 千代美		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	国際ビジネス科2年										
授業概要	全経簿記3級の内容をベースに、複式簿記を初めて学ぶ学生を対象に、簿記の仕訳、記帳、計算ができるようになるための簿記原理を学ぶ。										
	iCDタスクコード										
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが説明できる					
		○				簿記の計算構造が説明できる					
		○				全経簿記3級の前半の内容を理解し、過去問題に解答できる					
テキスト・教材 参考図書	『全経簿記能力検定試験公式テキスト3級 第5版』(ネットスクール出版 2023年)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1-3	身の回りの簿記 仕訳と転記					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	4-6	決算の手続き(1) 現金(1)と当座預金＝基本の処理＝ 現金と預金					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	7-9	現金(1)と当座預金＝基本の処理＝ 当座預金					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	10-12	商品売買 三分法 掛取引 返品					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	13-15	商品売買 商品売買に係る帳簿 売上原価対立法					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	16-18	その他の費用と収益 費用の支払い 収益の受取り					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	19-21	手形 約束手形 手形貸付金と手形借入金					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	22-24	その他の債権債務 未収金と未払金 前払金と前受金					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	25-27	その他の債権債務 仮払金と仮受金 立替金と預り金					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	28-30	現金(2) 現金過不足 小口現金					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)小テストを数回実施する(3)欠席・忘れ物・携帯使用・居眠り・私語を受講状況として評価の対象とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他 評価割合	
	定期試験(筆記)	◎		◎						60%	
	小テスト	◎		◎						20%	
	受講状況							◎		20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。										

科目名	一般教養 I						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	就職試験に臨むためのSPI(非言語・言語)の内容を学ぶ。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				就職試験レベルの漢字の問題を解くことができる	
	○	○				数的な問題の基本を理解し、自分の力で問題を解くことができる	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、就職適性検査の説明、漢字①					
	2	SPI対策(仕事算)①、漢字②				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	3	SPI対策(仕事算)②、漢字③				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	4	SPI対策(鶴亀算)①、漢字④				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	5	SPI対策(鶴亀算)②、漢字⑤				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	6	SPI対策(損益算)①、漢字⑥				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	7	SPI対策(損益算)②、漢字⑦				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	8	SPI対策(速さ・時間・距離)①、漢字⑧				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	9	SPI対策(速さ・時間・距離)②、漢字⑨				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	10	SPI対策(場合の数)①、漢字⑩				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	11	SPI対策(場合の数)②、漢字⑪				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	12	SPI対策(確率)①、漢字⑫				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	13	SPI対策(確率)②、漢字⑬				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	14	SPI対策(割引・割合)①、漢字⑭				漢字の確認テストの準備をしてくる	
	15	SPI対策(割引・割合)②、漢字⑮				正試験に向けての準備をしておくこと	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)小テストを数回実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	ビジネス英語Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	英語の運用能力を高めるために、英語の語彙や文法表現を復習し、TOEICの聴解問題も利用して、英語力を高めていく。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常からビジネスシーンで使える語彙を増やし、正しい使い方が選択できるようになる	
	○	○				TOEICの問題を解くことで、それぞれのシーンで使用される表現を選択できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業の説明・リスニング問題で実力を測る				新出語彙の復習をしてくる	
	2	筆記問題で実力を測る				新出語彙の復習をしてくる	
	3	写真や図について英語で説明する				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	4	英語の基本的な応答を学ぶ				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	5	英語のさまざまな応答を学ぶ				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	6	会話を内容を理解する				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	7	説明文の内容を理解する				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	8	前期前半まとめ／授業内評価テスト				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	9	正しい語彙の選択をする／授業内評価テスト				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	10	短い文章を読み解く				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	11	チラシや告知などの内容を読み解く				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	12	比較的長い文章を読み解く				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	13	リスニング問題で実力を測る				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる	
	14	筆記問題で実力を測る				授業内評価テストの準備	
	15	前期後半まとめ／授業内評価テスト					
評価方法	(1)授業内評価テストを実施する (2)小テストを実施する(3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						